

5 経営第2451号
令和6年1月23日

全国農業共済組合連合会会長理事 殿

農林水産省経営局保険課長
保険監理官

今冬期の大雪等による農作物等の被害防止に向けた技術指導
の徹底及び農業保険の対応について

気象庁発表の暴風雪と高波に関する全般気象情報（令和6年1月22日）によると、日本付近には23日から25日頃にかけて、上空約5500メートルに氷点下40度以下の、この冬一番の強い寒気が流れ込み、冬型の気圧配置が強まる見込みであり、北日本から西日本の日本海側を中心に大雪となり、東日本や西日本の普段、雪の少ない地域でも大雪となり、平地でも積雪となるところがある見込みとなっています。

また、今後もしばらく降積雪期が続くため、積雪及び寒害に対して適切な備えを行い、油断なく警戒することが重要です。

貴連合会におかれましては、各地域の状況に応じた迅速かつ適切な対応が行われるよう、「農業技術の基本指針」（令和5年5月農林水産省公表）について、農業経営収入保険の被保険者に対し、機会を捉えて周知いただくようお願いいたします。

また、貴連合会におかれましては、これまでも、農業経営収入保険の被保険者に対して、機会を捉えてつなぎ融資等の周知に取り組んでいただいているところですが、被害を受けた農業者の経営安定を図るため、その取組の徹底をお願いします。

（参考）「農業技術の基本指針」（令和5年5月農林水産省公表）

https://www.maff.go.jp/j/kanbo/kihyo03/gityo/g_kihon_sisin/r5sisin.html